

あいの



Vol. 39

令和元年 10 月発行



特集

一般・消化器外科

(診療科紹介⑧)

お知らせ

乳がん検診のご案内

活動報告

秋祭り

市民公開講座

「一般・消化器外科」

今回は、外科の紹介です。

当院の一般・消化器外科では、「一般外科」として、体表の外科、外傷外科、胸部外科、血管外科、乳腺外科が、「消化器外科」として、食道や胃の上部消化管外科、小腸や大腸の下部消化管外科、肝胆膵の外科が行われています。

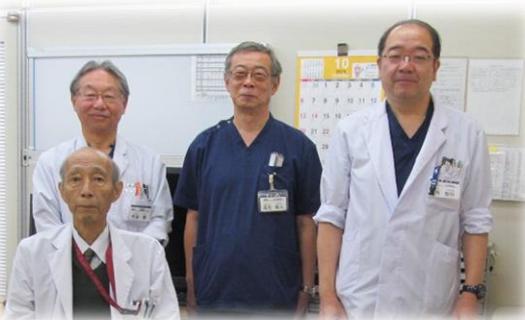


ここ 30～40 年間に外科の世界は大きく変わったと言われていています。中でも、「究極の根治性を追求する拡大外科治療」と「全身状態を考慮した低侵襲外科治療」との二極化が進みました。究極の先進拡大外科治療は主に大学病院などの高度先進医療担当病院で行われますが、低侵襲外科治療（腹腔鏡手術、カテーテル治療など）は、一般病院でも行われるようになりました。

腹腔鏡手術は、当院でも胆石症、大腸・小腸に対して行われてきました。食道・胃に関しては、大阪医科大学一般・消化器外科上部消化管領域の責任者 李相雄先生が非常勤医師として本院に勤務するようになり、当院でも行われるようになりました。

もう一つ大きく変わったもののひとつに乳がんの治療があげられます。以前は、小さな乳がんに対しても拡大乳房切除術が行われていましたが、最近では、術前生検で乳がんの確定診断後、ホルモンレセプター検査や HER2 遺伝子たんぱく検査により乳がんのサブタイプ診断が行われるようになり、この結果をもとに過不足のない乳房切除術、術前術後の化学療法、術後放射線療法などを組み合わせた集学的治療が標準治療として行われるようになりました。当院では、大阪医科大学一般・消化器外科乳腺領域の責任者だった梁壽男先生を中心に土曜日午後の乳腺外来、水曜日午後の乳がん手術が行われています。

当院外科は、大阪医科大学一般・消化器外科の協力の下、日本外科学会専門医関連施設、一般・消化器外科として上記のような外科診療が行われています。皆様のお役に立てることがあれば幸いです。



濱畑 哲造・竹田 幹・瓜生 和人・日外 知行



千福 貞勝・李 相雄



梁 壽男

外来診療担当表

★は予約制です

曜日	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後										
1診	竹田	-	日外	-	千福	-	瓜生	-	濱畑	-	竹田	-
2診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	★梁 13:30~15:30

外来受付時間

午前 8:00~11:00

診察時間

午前 9:00~

女性の健康を守るために・・・

現在、乳がんは女性に一番多いがんで40~50歳代をピークに発症や死亡が増加しています。日本人女性の約12人に1人が生涯で乳がんにかかる可能性があるといわれています。

しかし、乳がん検診の受診率は先進国が60~80%であるのに対し、日本では41%ととても低いのが現状です。乳がんのうち5~10%は遺伝のために発症すると考えられています。

他には、**肥満・早い初月経・遅い閉経・喫煙**などが発症を高めるリスクといわれています。



当院では女性診療放射線技師（内2名が認定技師）が撮影を行います。

マンモグラフィは乳がんをはじめ乳房にできる病気をみつけることができます。特に、しこりとして触れることのできない早期乳がんのサインである石灰化（乳腺内にできるカルシウムの沈着物）の白い粒を鮮明に写し出せるのが大きな特徴です。なにか症状がでる前に、乳がん検診をお受けください。

●茨木市乳がん検診 800円

●検査内容 問診 マンモグラフィ 視触診

ご予約・お問い合わせ

予防医療センター



おーいっ よやく
0120-011-489

受付時間 9:00 ~ 16:00 (日・祝除く)

2019年
10月20日(日)

J.M.S

ジャパン・マンモグラフィ・センター

ジャパン・マンモグラフィ・センターを実施いたしました。

乳がんが心配、でも平日の検診には行けない。そんな女性のために茨木市在住の40歳以上の対象の方へ日曜日に乳がん検診を行いました。(次回は2020年5月を予定しています。)

秋祭り

9月14日(土)秋祭りを開催しました！
患者様やご家族様が和やかに過ごされました。



市民公開講座

10月26日(土)市民公開講座「はつらつ長寿をめざして」を開催しました。
第8回目となり今回は『いつまでも住みなれた街で暮らすために』と題し、2題の講演と映画上映を行いました。今年も大勢の方にご参加いただきました。



杉野正一 院長



中野 明子



「はつらつ長寿のためのストレス・マネージメント」
演者 中野 明子
(医療法人恒昭会 藍野病院 臨床心理科主任)



「いつまでも茨木に暮らせるように～在宅医療について～」
演者 松本 夏代子
(茨木市健康福祉部長寿介護課 主幹兼認定係長)



はつらつ長寿ダンス
藍野病院 リハビリテーション科



ドキュメンタリー映画
「ぼけますから、よろしくお願いします。」



入院のご相談は「地域医療連携センター」まで TEL：072-627-7611(代) FAX：072-627-3627

平日(月～金曜日)の20時までは救急患者様に対応できる体制を整えています。

発行：医療法人 恒昭会 藍野病院 発行責任者：杉野 正一 発行編集者：広報委員会
ホームページ <http://www.koshokai.or.jp/aino> メールアドレス aino-hp@koshokai.or.jp